



株式会社 長大

株式会社長大

2020年9月期決算説明会

2020年12月4日

イベント概要

[企業名]	株式会社長大
[企業名]	株式会社長大（証券コード：9624）
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2020年9月期決算説明会
[決算期]	2020年度 通期
[日程]	2020年12月4日
[時間]	17:15 – 18:11 (合計：56分、登壇：50分、質疑応答：6分)
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル2階 第2セミナールーム（日本証券アナリスト協会主催）
[会場面積]	145 m ²
[出席人数]	30名
[登壇者]	5名 代表取締役社長 最高執行役員 永治 泰司（以下、永治） 取締役 専務執行役員 事業推進本部長 井戸 昭典（以下、井戸） 取締役 上席執行役員 経営企画本部長 塩釜 浩之（以下、塩釜） 執行役員 経営企画本部 エグゼクティブ・マネージャー 加藤 聡（以下、加藤） 管理本部 経理部担当専門職 菅原 淳（以下、菅原）

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

登壇

司会：それでは定刻となりましたので、ただ今から株式会社長大様の IR ミーティングを開催いたします。

最初に、会社からお迎えしている方々をご紹介します。最初に、代表取締役社長最高執行役員、永治泰司様でございます。

永治：永治です。よろしくお願いいたします。

司会：取締役専務執行役員、事業推進本部長、井戸昭典様でございます。

井戸：井戸でございます。よろしくお願いいたします。

司会：取締役上席執行役員、経営企画本部長、塩釜浩之様でございます。

塩釜：塩釜でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

司会：執行役員 経営企画本部 エグゼクティブ・マネージャー、加藤聡様でございます。

加藤：加藤でございます。よろしくお願いいたします。

司会：管理本部、経理部担当専門職、菅原淳様でございます。

菅原：菅原でございます。よろしくお願いいたします。

司会：本日は最初に永治社長様からご説明をいただき、その後、会社様からのご説明、続きまして質疑応答とさせていただきます。それでは永治様、よろしくお願いいたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結業績とトピックス

(金額単位：百万円)

(連結)	2019年9月期 実績	2020年9月期 実績	前期比
受注高	29,788	34,437	115.6%
売上高	29,001	30,954	106.7%
営業利益	2,903	3,149	108.5%

- 新型コロナウイルス感染症の影響による翌期への案件繰越等の影響があったものの、主に基幹事業である構造事業、道路事業の増加により受注高・売上高ともに大きく増加。
- 営業利益については生産性向上による影響、また業務消化体制の強化(技術者の増員、IT投資等)に関わる費用が一部翌期にずれ込んだことにより増加。
(52期の実質営業利益2,503百万円*と比較した場合、前期比125.8%)
*補償金引当金戻し入れのプラス影響4億円を控除。

Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

2

永治：今日は皆様、私どもの説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。現在は、この9月に弊社の53期が終了いたしまして、54期に入ったところでございます。それで本日、私からは数値的な業績、それからコロナの関係、それからもう1点、今年度予定をしております純粋持株会社化について簡単にご説明させていただきます。

まず連結業績ですが、ご覧のとおり増収増益という結果になっております。期首では増収減益を見込んでおりましたが、想定ほど固定経費である人件費であるが伸びなかった結果として、増収増益となっております。

コロナの関係もありまして、一時、官公庁の業務発注も滞るのかなと思いましたが、結果をみると、災害はコロナの有無にかかわらずやってきますから、国をはじめ自治体様もここを止めるわけにはいかないということで通常どおりの発注がなされました。そのため、弊社の得意分野であります橋梁ですとか道路、あるいは点検、保守、復旧、設計といった部分は順調に受注をし、消化してきたこととなります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



個別業績とトピックス

(金額単位：百万円)

(個別)	2019年9月期 実績	2020年9月期 実績	前期比
受注高	16,653	19,564	117.5%
売上高	15,448	17,168	111.1%
営業利益	1,382	1,799	130.1%

- 受注高・売上高ともに、連結と同様に公共事業を取り巻く堅調な環境の中、前期に対し大きく増加。
- 営業利益は、生産性向上による影響、また業務消化体制の強化(技術者の増員IT投資等)に関わる費用が一部翌期にずれ込んだことにより増加。
- 今後とも引き続きIT投資ならびに研究開発等に重点を置くことから、2021年9月期(54期)は53期比で約3~4倍の投資を見込む。今後更に積極的に投資を推進。

Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

3

受注高が相当増えたことにつきましては、お役所の仕事は年末から年度末にかけての工期が多く、その時点で納品するという事に起因いたします。数は多くないものの、一部、業務中止がありまして、それが結局繰り越してくるかたちになり、一部ずれ込んだことによります。

営業利益が思った以上に出ていることにつきましては、やはり思うような採用ができなかったことが一番大きな原因です。

また一方ではコロナの影響で、これは幸いしたことです。発注者さん、主には役所との打合せをリモートでやることが大変多くなりました。特に3月、4月の年度末、いわゆる納品あるいは納品検査という部分もリモートで行っている状況が続きました。その結果、いわゆる旅費交通費、それから現地へ行くための人件費という部分が相当に減っております。

そこでいわゆるIT投資とともに、リモートワークをするための機械設備の投資の比較をするため、3月、4月の2ヶ月分を集計してみました。結果はその2ヶ月で5,000万~6,000万の費用削減になっておりまして、これは年間通しますと2億近くになります。それも営業利益に大きく影響しているといえます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

そういうこともあり、ITの投資はいわゆるリモートワークの整備、および新規事業への投資、下準備というようなところで今は終わってしまっていて、本来投資を計画していたIT投資も十分できなかった結果になっています。これらにより53期は利益が出ましたが、必ずしも良いことではないと思っており、今期、54期にはきちんとした投資をしていく予定でおります。

当社は研究開発費の中でIT投資をしていますが、54期につきましては前期の53期に対して、3倍ないし4倍程度の投資をして、加速させようと考えております。

後ほど塩釜本部長から54期の予定を報告いたしますが、人材開発とIT投資を重点的に投資活動していきたい。もちろん前年から申し上げていますように、いろんな分野でこれからやっていかなければならないところがありますので、そのためのM&Aも含めまして、投資活動については力を入れていきたいと思っています。

次にこれは避けて通れない話ですが、新型コロナウイルスの感染対策です。

弊社では4~5年前から働き方改革に真摯に取り組んでおります。その中でテレワークが突然出てきたような、世の中ではそういういわれ方をしていますが、当社ではテレワークの環境も既に整えておりました。

実際に子育てですとか、あるいは介護といった方々には、テレワークしていただいている方もいました。そのようなことから仕組みとしてはスムーズに、何の影響もなくテレワークのかたちをとることはできました。

ただ、やはり全社員がとなりますとトラフィックが混んでくるということで、回線の増強ですとかサーバの増強は一部行いましたが現在は特に問題なく移っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



新型コロナウイルス感染症対策について

働き方改革の推進を行う中、コロナ禍においても「社員の安全確保」「生産性の維持」の推進を行っております。

【具体的な対応について】

●これまでの対応について

- 1)基本的な感染症対応の実施(3密防止、消毒・除菌対策等)
- 2)テレワークの推進(2020年2月～)
→緊急事態宣言時において約85%の実施
- 3)時差出勤、短時間勤務等の推進
- 4)WEB会議(ZOOM等)、TV会議の活用の推進

●今後の対応について

- 1)基本的な感染症対応の徹底(3密防止、消毒・除菌対策等)
- 2)テレワークの推進、時差出勤、短時間勤務等のさらなる推進
- 3)IT化のさらなる推進によるウィズコロナ時代に合った効率化の実現

緊急事態宣言の中においては、ここにありますようにおよそ85%の社員にテレワークをしていただきました。

今は恐らく30%程度へ戻っていると思います。私どもの仕事は頭で考える仕事でしょうといえそうですが、やはり良いものをつくっていかうと思いますと、いろんな知恵を集めないといけません。そうすると図面を広げ、あるいはかたわらに分厚い設計や計算の結果を見ながら、こうでしょう、ああでしょうという議論もしながらかたちを整えていく部分が結構多くなります。それぞれの役割分担として、自宅で1人できる部分と、やはり協議をしながら進めていく部分があります。緊急事態宣言下のテレワークは85%という高率ではありましたが、やはり社員の皆様は協同行う仕事は、やはり自宅では同じようにはできないですねということが分かりましたから、現在はテレワークを30%を切るぐらいで実施している状況であります。

ただ、各拠点から集合して開催する会議はほぼなくなっておりまして、あったとしても例えば本社で数人が集まりますが、拠点間ではWEBでの中継、あるいは高性能のテレビ会議システムが各支社入っていますので、そういったかたちを取っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

基本的には、これは発表してありますが、4月のはじめ、北と南で1名ずつコロナに感染した者が
出ましたが、それ以降は全く出ておらず、順調に仕事を消化しています。

特に今年はずっと災害も少なく、台風の上陸もゼロだったということでよかったのですが、やは
り冒頭申しましたように災害はコロナだからといって遠慮していただけませんので。

われわれはやはり社会的な使命として、国民の安全安心を守るところがありますので、それに向か
って着実に仕事をこなしていくことが必要になります。コロナの感染対策をとりながらも、仕事を
止めることなく実施している状況であります。

サポート

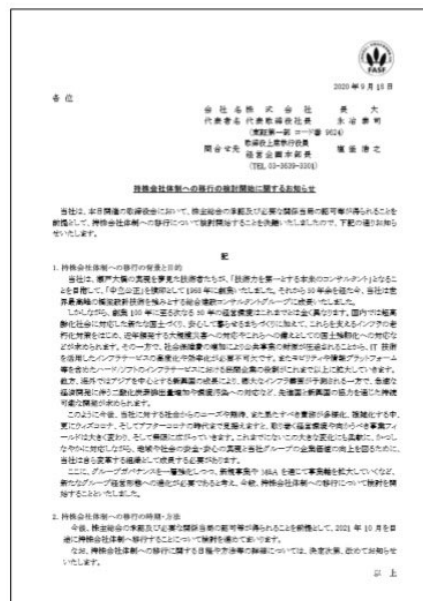
日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



持株会社移行のご案内

弊社は、2020年9月18日の取締役会において、株主総会の承認及び必要な関係当局の認可等が得られることを前提として、2021年10月を目途に持株会社体制へ移行することについて、決議・承認いたしました。

その後、検討を継続し、同11月24日の取締役会において、12月18日に開催される定時株主総会において持株会社体制に移行するための議案「株式移転計画承認の件」（第2号議案）を上程することについて、決議・承認いたしました。



それから3点目の話題ですが、持株会社についてです。

今までは長大という会社が、事業持株会社として他の子会社の株を持って運営していましたが、来年度10月を目途に純粋持株会社を設立しまして、純粋持株会社の体制に移る予定であります。

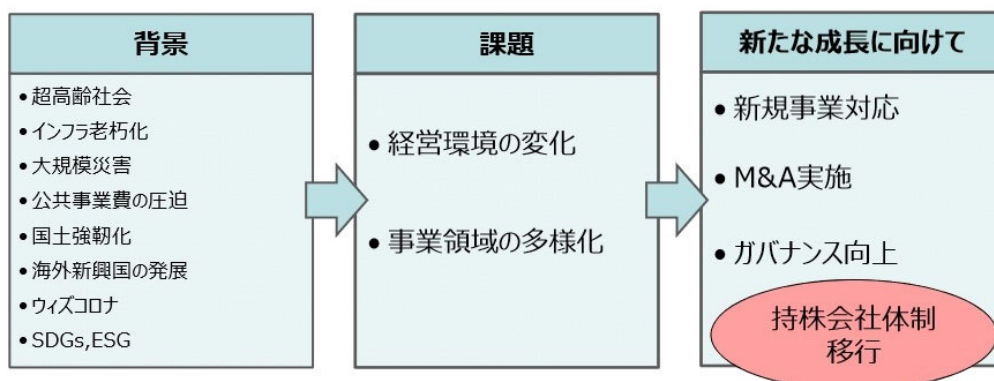
この12月18日に弊社の定時株主総会があり、そこでの提案事項にしてございます。その議案が通れば来年の10月を目途に純粋持株会社、「人・夢・技術グループ株式会社」という名前の持株会社を設立する予定であります。

この「人・夢・技術」は、もともと弊社のキャッチフレーズといいますか、合言葉として、人が豊かな夢を見ながら成長していく、それを支える技術をわれわれは提供するという意味合いのものでございます。そういうことで「人・夢・技術の長大」とは昔から使っていた言葉でございます。その頭の部分を取りまして、「人・夢・技術グループ」という名前でも純粋持株会社を設立していきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

持株会社化の背景、目的、持株会社概要



持株会社概要

商号	人・夢・技術グループ株式会社
所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号
代表者	代表取締役社長 永治泰司

持株会社が株式会社長大を含む連結子会社の株式を取得

Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

7

この背景はここにありますが、一つには高齢化社会の進展と同時に、やはり地方の元気がなくなっていることと、少子高齢化ということです。これでは日本、今回のコロナでもそうですが、大都会でいろいろ問題が出てしまうことがありまして、地方創生を一つの目標に掲げております。

そのためには、色々な会社様と手を組んでいく必要があると思っております。弊社の子会社のファイナンスも含めまして大分広げてきてはおりますが、ITのプラットフォームですとか、あるいは通貨のプラットフォームといったようなものも含めていきたいと思っております。地域を元気にするには、箱物をつつとったことで元気になるということでは決してありません。やはり生活全てに渡り、そこに住んでよかったなと思えるような地域に変えていかなければならないと思っております。そのためには、色々な業種の方と手を取り合ってやっていかなければならないという思いがあります。

そのためには他社が参画しやすいかたちにしておくほうがいいだろうと、純粹持株会社というかたちを取ることに決めました。長大という事業をやりながらですと、どうしても長大の事業に引っ張られる部分がありますから、そうではない形でやっていこうと考えています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

それから海外につきましても同様でございまして、従来の世界一の技術と私どもは自負していますが、吊り橋技術だけではなく、やはり海外の、特に PPP、PFI というかたちになろうかと思いますが、日本の地域開発と同じように海外の地域も元気になってもらわないと、紛争もなくなる状況だと考えております。そういうところにも力を入れていくことになると、海外の会社様も仲間に加わっていただくことも必要になってくるかと思えます。そのような背景から純粋持株会社にしていこうと考えています。

また同時にガバナンスの強化ということで、やはりここぞというときに、色々な会社の勢力を集めて立ち向かっていけるかたちをとっていきたい。やはり IT も含めまして、社会の変化の速度が速いですから、そこに向かっていくためにはよりスピードアップしていかないといけないと思っています。そのために純粋持株会社化して、ガバナンスを強化していきたいと思っています。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



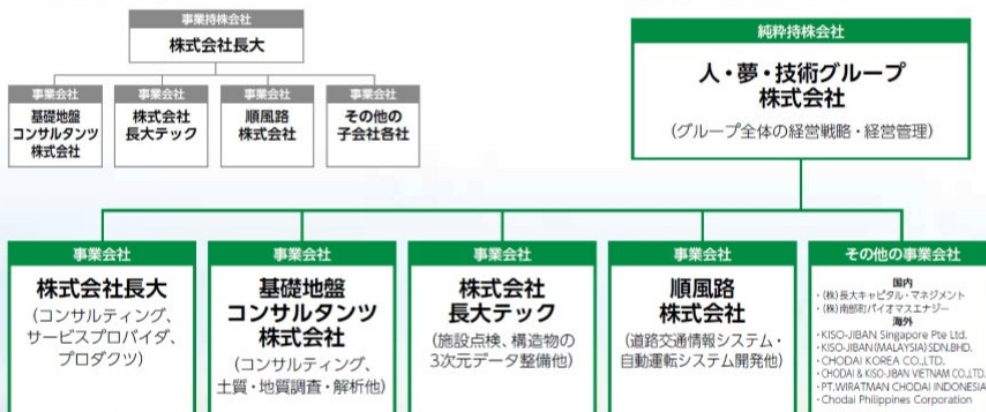
持株会社体制におけるグループのストラクチャー

グループ体制

● 現状のグループ体制



● 持株会社後のグループ体制



Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

8

したがいまして、今は組織の詳細を検討中ではありますが、ここにありますように、会社としてこの様にしますよという経営企画の部分ですとか、あるいはいわゆる経営的な指標を管理する部分といった、グループ全体を統括するような組織は、この純粋持株会社、「人・夢・技術グループ」の中に持っていこうと今は考えております。

一方で、ここに乗っかっています長大基礎地盤コンサルタンツ、長大テック、順風路といった会社は、非常にそれぞれの強みを持っています。例えば基礎地盤ですと、地質、地盤では日本で1位、2位を争う技術を持った会社です。それから長大テックは今、BIM/CIM といったいわゆる構造物の3次元設計に長けております。それから順風路株式会社は後ほど出てきますが、デマンド交通、あるいは自動運転にいろんな会社、そういうメーカー様とかの引合いが非常に多い状況で、これから躍進していくところでありまして。そういった事業の部分は、夫々に動かしていただくと考えております。そのほか先ほど言いましたように、例えば地域創生となりますと、交通も自動運転の域内交通を走らせる、そこに安全安心な町をつくっていくこと。それから一部申し上げましたが、いわゆるキャッシュレスの時代にお金のプラットフォームをつくっていく。そういったことも必要になりますので、必要なときには必要なところの技術を集めてやっていくこと。それがグループのガバナンスと考えておりますので、そういったかたちでこれから進めていくつもりであります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

54期のテーマ/シンボル文字

結

むすぶ

永治泰司 書

- 新型コロナ禍において厳しい環境の中で個々の社員が結びつきを深め、地域とつながりを深め、企業連合を進めて、新たな未来に希望をもって前進することを願うものである。

最後になりますが、「結」という字が出ています。毎年来ていただいている方はご承知かと思いますが、その年を表す1語を弊社で決めております。

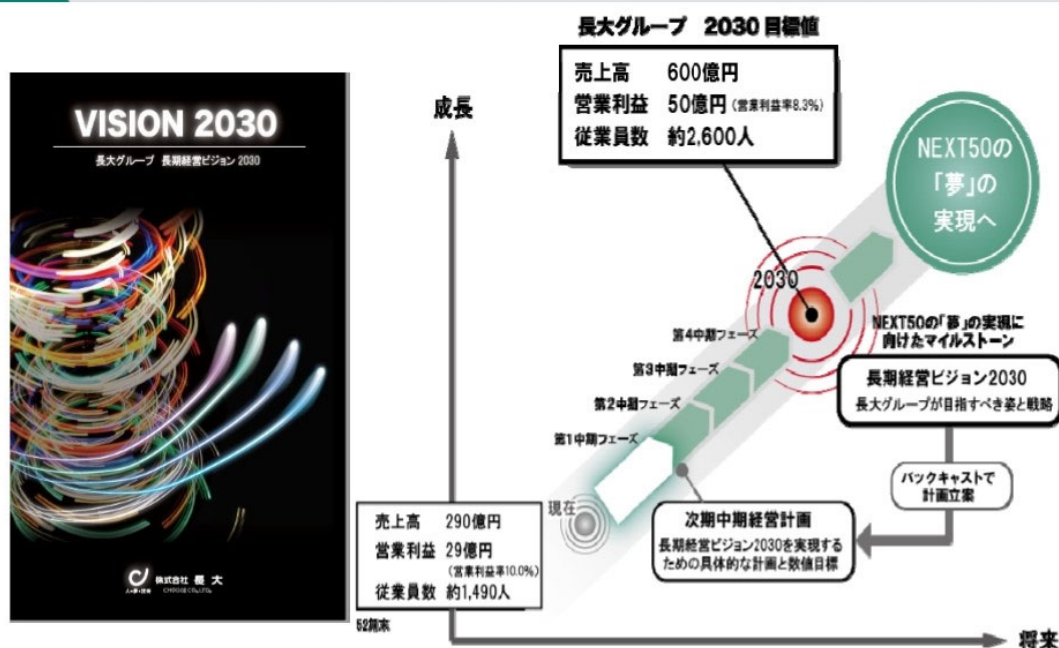
今年、54期は結ぶという字になっています。非常に厳しい環境の中で、会社と会社を結びつけ、人と人が結びついて、新しいかたちの会社組織、グループ組織をつくっていかうという思いを込めて、「結」という字にしております。

以上、雑駁な説明ではありましたが、私からの説明を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

長期経営ビジョン2030（2019年策定）



Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

11

塩釜：続きまして経営企画、塩釜でございます。ここからは長期経営ビジョンの説明ですとか、前期の決算報告の説明をさせていただきます。

パワーポイントの関係で前に出させていただきます。

これから決算の数値の説明の前にお時間を少しいただき、長期経営ビジョン2030、長期計画、長期計画の一つ一つの要素である中期計画の話を中心にさせていただきます。

ちょうど1年前に、私たちは50年が経ちまして、これから新たな50年に向かっていこうという大きな節目でございます。今、社会、世界そのものが大きく変革しようとしている中、やはり私たちも変わっていかないと強いの強い思いを持っております。その具体的なマイルストーンとして、前期に長期経営ビジョンを立てさせていただきました。

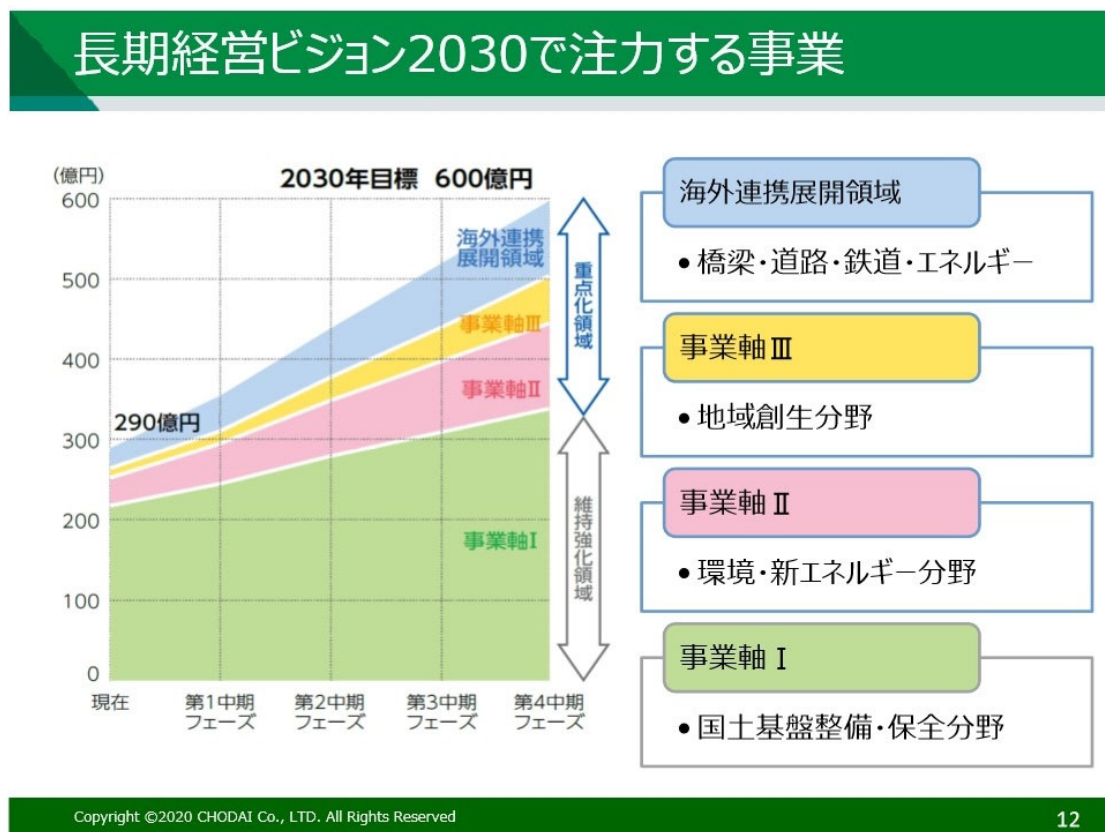
簡単にいいますと、ちょうど1年前の数字になります、グループ全体の売上290億を倍以上の600億にしようと計画しております。こちらを御覧ください。この2030年ですが、ちょうどこれはスタートした2019年からすると四つの中期計画を経て、2030年ということです。正確には2031年なのですが、最終年のスタートが2030年になりますので、きりのいいところで2030といういい方にしています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

これらの四つの中計を経て12年後に到達しよう。それが売上で約倍以上にあたる600億。それから営業利益が50億円、これは利益率8%に相当します。従業員が今1,500人弱ですが、それを2,600人。

ただし、売上は倍になるのですが、人は倍にはしていません。当然、そこに効率化等が入ってきますので、それを踏まえて2,600名。こういった規模のものを想定してやっていこうというのが、ちょうど去年、前期からスタートしたところでございます。



その長期計画を達成するために、私たちは三つの事業軸と海外連携展開領域の四つの展開域を持っています。

事業の内容は、この後井戸から説明させていただきますが、まず事業軸Iといたしますのは、私たちが今まで50年間やってきた非常に基本的な基盤の部分です。社会インフラを整備していく、橋に強い長大でございます。橋であったり道路であったり、それでの町づくりであったり、交通計画、道路計画、環境計画。いろんな分野をやってきました。それを50年やってきた、それをさらに次の50年もやっていこうということでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

次に、事業軸 II と III です。II は環境・新エネルギー、事業軸 III は地方創生分野。この二つは今、ちょうど日本が抱えている解決していかないといけない大きな問題でもあります。それを私たちの事業の中でやっていこうということでございます。

それから最後が海外連携展開領域。これは過去、当然やってまいりました。今までは海外で長大橋の設計とか、世界中の橋を設計してまいりました。でも長大橋の橋につきましても、だんだんと世界でもやり尽くして橋をかける場所がなくなってきています。

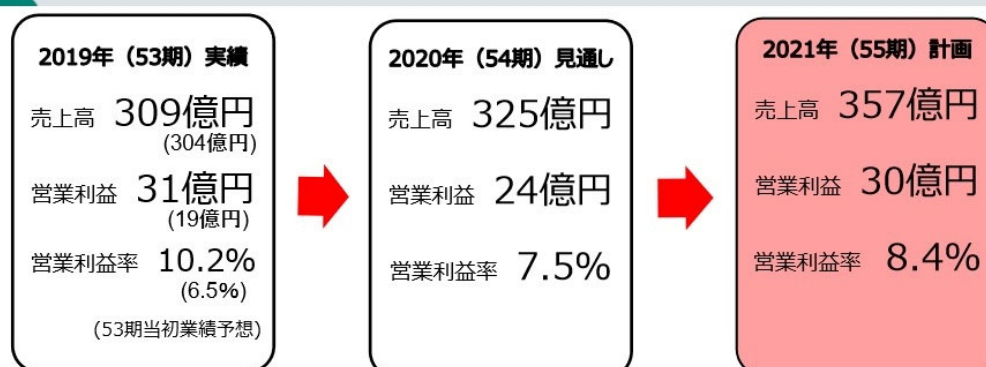
ただし今は新興国を含めて、どんどん国が成長していこうとしている。そういったところを、従来の私たちが得意である橋梁、道路、鉄道、エネルギー、町づくり含めて展開していこうというものでございます。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



持続成長プラン2019（中期経営計画）



主要施策と横断的な取り組み	
事業軸Ⅰ 国土基盤整備・保全分野	基幹事業のさらなる強化と河川、防災分野への事業拡大 国内未開拓エリア・顧客・業種における受注力強化
事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野	環境事業の強化 再生可能エネルギー事業の基盤づくり
事業軸Ⅲ 地域創生分野 海外連携展開領域	新たなまちづくり事業の基盤づくり 構造および鉄道事業を中心とする主要事業の強化・育成 東南アジアにおける重点地域展開
横断的な取り組み	イノベーションとIT化への投資拡大 働き方改革とダイバーシティのさらなる推進 さらなる成長の基盤となる組織づくり

Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

13

こちらは、長期計画を構成する一つ目の中計、これはちょうど昨年度53期からスタートし、今期の54期と来期の55期の3年間ということです。それぞれ309億、325億、357億となり、この数字は先ほど立てた長期計画の、まさに計画どおりの数字です。まだ長期計画の2年目ですが、計画通り進行しているところでございます。

そういった長期計画、中期計画を経て進めている中で、54期、当期について少し触れます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

連結通期業績予想

(金額単位：百万円)

(連結)	53期 (実績)	54期 (当期予想)	前期比
受注高	34,437	34,100	99.0%
売上高	30,954	32,500	105.0%
営業利益	3,149	2,440	77.5%
経常利益	3,195	2,460	77.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,047	1,470	71.8%

- 売上高については、好調な基幹事業の受注を背景に増益の見込。
- 営業利益については、前期の遅れを取り戻すべく、技術者の増員とIT技術の導入の投資をさらに強化するとともに、新たな事業領域の開拓に向けて、スーパーシティ構想の実現に必要な新たなサービスの構築や、量子コンピューターを活用した先進的なインフラ技術開発への投資等を益々強化するため、減益の見込。
→持続的な成長の基盤を作り「持続成長プラン2019(中期経営計画53～55期)」の最終年度となる来期(55期)の確実な目標達成を目指す。

Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

14

54期は、53期の309億に対して325億を計画しております。増収を当然目指しています。それから営業利益は前期31.5億で、非常に高く立ちました。これはまた後ほど詳しく説明しますが、雑感といいますか、54期は営業利益が下振れしています。

この営業利益の下振れは、53期、前期で例えば事業を拡大していくために人は絶対必要です。人を増やすことですか、あとIT投資ですね。この辺りを十分計画して進めているところですが、なかなか今、技術者、売り手市場ということがあって人が思った以上に集まらなかった。その結果、人を増やすための予算が消化し切れなかったことですか、それに伴っていろんな投資の部分がついていかなかったことで、数値にして4億～5億ぐらいが、本来53期で使うべき予算が使い切れずに残った。それが営業利益として積み上がったという構図です。それが大体4億～5億ぐらいありますでしょうか。そういうことで、もともと前期53期は十分利益が出ているのですが、それプラスアルファ使い切れなかった予算が利益の一部になっていることを、お知りおきいただきたいと思っております。

逆にいえば、本来前期にやるべきだったところを今期に投資してまいりますので、その分、営業利益が見た目上、下がっていることをございます。ただし、この中計の中では右肩のカーブをしっかりと示しております。これもまた後ほど説明いたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



個別通期業績予想

(金額単位：百万円)

(個別)	53期 (実績)	54期 (当期予想)	前期比
受注高	19,564	20,000	102.2%
売上高	17,168	18,500	107.8%
営業利益	1,799	1,370	76.1%
経常利益	2,257	1,650	73.1%
当期純利益	1,606	1,080	67.2%

これは個別、長大単体のほうです。これも同じような傾向、ちなみに172億、185億で、これも当然想定した数字のとおりになっております。

ここからが決算報告で、もう少し数字の説明をさせていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結損益計算書

連結損益計算書

(金額単位：百万円)

項目	2019年9月期 実績		2020年9月期 実績		前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減金額	比率
売上高	29,001	100.0%	30,954	100.0%	1,952	106.7%
売上原価	19,788	68.2%	21,150	68.3%	1,361	106.9%
売上総利益	9,212	31.8%	9,804	31.7%	591	106.4%
販管費	6,309	21.8%	6,654	21.5%	345	105.5%
営業利益	2,903	10.0%	3,149	10.2%	245	108.5%
営業外損益	△32	-	46	0.1%	78	-
経常利益	2,870	9.9%	3,195	10.3%	324	111.3%
特別損益	-	-	△36	-	-	-
親会社に帰属する 当期純利益	1,857	6.4%	2,047	6.6%	189	110.2%

前期 53 期、2020 年 9 月期です。

売上高 309 億でございます。それに対して売上原価が 211 億 5,000 万、それから売上高総利益、粗利ですね。これが 98 億ございました。それから販管費が 66.5 億円、それから営業利益が 31.5 億でございます。31.5 億、これは比率にしまして、先ほどのとおりプラスアルファが積み上がりましたので、10%という非常に高い営業利益を達成できたことでございます。

あとは営業外収益等を含めまして、最終的な利益、親会社に帰属する利益として 20 億 4,700 万円という数字でございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結セグメント別の業績

連結セグメント別売上高・売上総利益

(金額単位：百万円)

項目	2019年9月期 実績	2020年9月期 実績		前期比	
	金額	金額	構成比	比率	
売上高	コンサルタント事業	28,283	30,368	98.1%	107.4%
	サービスプロバイダ事業	349	234	0.8%	67.0%
	プロダクツ事業	368	351	1.1%	95.4%
	合計	29,001	30,954	100.0%	106.7%
売上総利益	コンサルタント事業	9,073	9,668	98.6%	106.6%
	サービスプロバイダ事業	66	99	1.0%	149.2%
	プロダクツ事業	72	36	0.4%	50.2%
	合計	9,212	9,804	100.0%	106.4%

それからあとセグメント別の売上でございます。

私たち、コンサル業務がメインなのですが、それ以外にセグメントとしてサービスプロバイダ事業、それからプロダクツ事業を持っております。まだまだ比率は少ないですが、サービスプロバイダ、これは私たち事業軸として挙げています。

自分たちがプロバイダ事業者としてやっていこうと、例えばPPP、PFI 事業ですとか、そんなところを想定しています。

それからプロダクツ事業、これは例えば建設資材とか型枠とか、これは以前からエコ型枠として、これもエコ事業として進めている。この辺りの売上が若干立っていることでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

連結貸借対照表

連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

項目		2019年9月期 実績	2020年9月期 実績	増減金額
資産	流動資産	17,362	19,864	2,502
	有形固定資産	3,797	3,704	△ 93
	無形固定資産	232	224	△ 8
	投資その他の資産	3,779	4,107	328
	合計	25,172	27,901	2,728
負債	流動負債	8,399	9,290	891
	固定負債	2,224	2,465	240
	合計	10,623	11,755	1,131
純資産		14,548	16,145	1,597
負債・純資産合計		25,172	27,901	2,728

- 流動資産が増加した主な理由は、現金及び預金（2,789百万円増加）
- 流動負債が増加した主な理由は、未成業務受入金(513百万円増加)と賞与引当金(232百万円増加)
- 純資産が増加した主な理由は、利益剰余金（1,555百万円増加）

これはBSでございます。詳しい中身はお手元の決算短信に示しております。ポイントだけここに示させていただきました。

この中で、まず資産の部で合計が全体で279億でございます。このうち流動資産が大きく増加しました。その理由は現預金が27億積み上がったことでございます。

それからその下、負債の部の合計が117億5,500万でございます。これに関しまして、流動負債が増加した主な理由は、未成業務受入金、これが5億の増加と、賞与の引当が2億3,000万でございます。

私たちいろんな業務をやっていく中で、途中で前受金ですとか中間払いとか、そういうかたちで発注者さまから途中でお金をもらったりします。その辺りが未成業務受入金として増加したことでございます。

それから最終的に純資産が増加しましたことで、ここは先ほどのとおり利益剰余金が15.5億でした。最終的な税後の利益が20.5億でした。それに対して前期の配当約5億引いたもの、それがちょうど利益剰余金で15.5億でございます。これがそのまま、ほぼ計上されてきていることでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

連結キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フロー

(金額単位：百万円)

項目	2019年9月期 実績	2020年9月期 実績	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7	3,795	3,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 308	△ 474	△ 165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 677	△ 487	190
現金及び現金同等物の期末残高	5,451	8,277	2,825

- 2020年9月期営業活動によるキャッシュ・フロー3,795百万円の主な内訳は、税金等調整前当期純利益で3,158百万円、受取手形及び完成業務未収入金の減少で730百万円
- 2020年9月期投資活動によるキャッシュ・フロー△474百万円の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出で△167百万円、その他の支出で△328百万円
- 2020年9月期財務活動によるキャッシュ・フロー△487百万円の主な内訳は、配当金支払△490百万円

あと連結のキャッシュ・フローでございます。

まず営業活動によるキャッシュ・フローとして、37億が積み上がりました。主な内訳として税前の純利益で31.5億あったことによります。あとは受取手形とか完成業務未収入金が現金化されて7億3,000万増えたことでございます。

次に投資活動によるキャッシュ・フローです。これにつきましてはマイナス4.7億でありました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出で1.6億、その他で3.2億。この辺りは、積極的に人を増やして事業を拡大していこうと、それに伴い職場環境も良くしていこうという理由によります。この1.6億というのは前期、例えば弊社は東京支社で人が増えていくことに対して、フロアの増床なんかを行いました。そのようなところが積み上がっております。

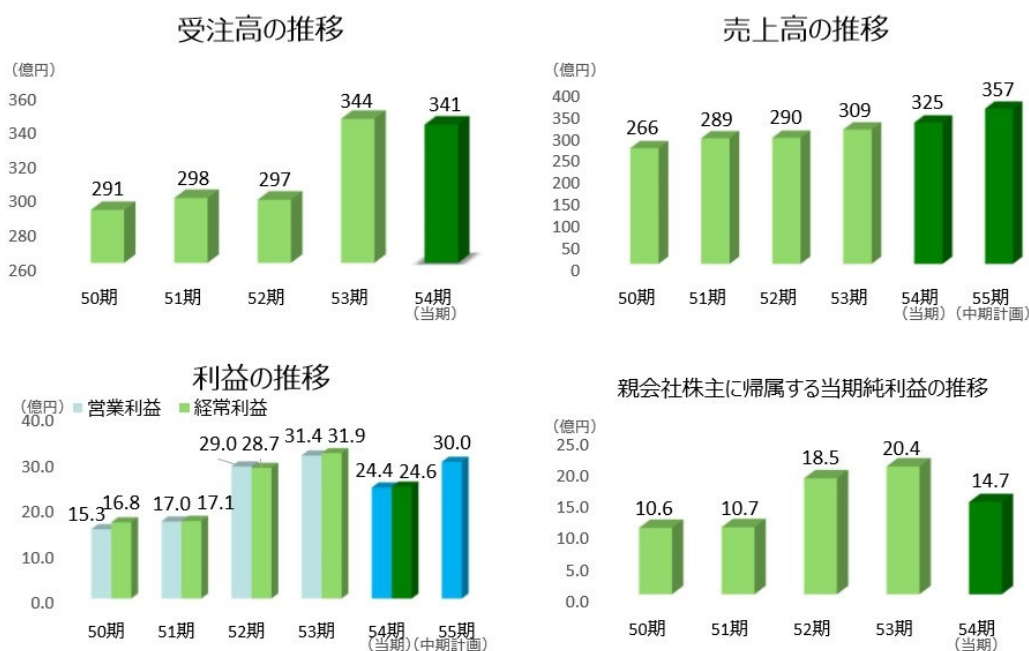
それから最後、財務活動によるキャッシュ・フローとして4.8億円です。これにつきましては配当の支払がそのまま計上されていますよということでございます。

以上までが、ざっとPLとBSの簡単なポイントの説明でございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

連結業績の推移



Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

21

ここからはもう少し、過去5年間の私たちの歩みをもっと簡単に説明させていただきます。

受注高にはで期ごとに増減があります。これは受注に関しましては期の途中で、期を跨いで大きなものが入ったり、あとは海外案件とか大きな業務があったりするため、どうしてもでこぼこが見た目上、出てきます。

実際の売上高の推移で見ていただきたいのが、53期が終わり、当期は54期でございますが、きれいに右肩上がりで、着実に売上を重ねています。またこのところずっと増収でございます。

それともう一つ、利益の推移について説明させていただきます。売上はこのとおりでずっと右肩上がりなのですが、利益に関しまして53期が終わった段階で31.5億であるのは、先ほどのとおりです。そのさらに一つ前、これは52期ですね。これは29億であったと。

なぜこの期だけ突出しているかと申しますと、これは、去年も報告差し上げましたグループ会社、基礎地盤コンサルがこの51期に、海上ボーリングの調査中にステップ台船が台風によって流されました。そこで最終的に51期の段階では損失になりました。それが保険金で当然戻ってきましたが、次の期52期に戻ってきたことで約4億が期ずれになりました。本来51期にあるべきものが

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

52期に乗って来ましたということでございます。ですから、4億を52期から引いて4億を51期に足すことを想定していただければと思います。

もう一つ、これは先ほど前期53期、31.5億、これも先ほどのとおり予算が使い切れなかった、IT投資ですとか研究開発費なんかも使い切れなかった部分がございます。それがざっと4億ほどございます。ですので、これも同じように53期から31.5億~4億から5億引いて、26億~27億ぐらいが私たちの実質的な営業利益だったことです。

53期から4億、5億、54期に移す、そして4、5億を52期から51期へ移すことをしますと、実は前期を通して右肩上がりで55期に向かいます。

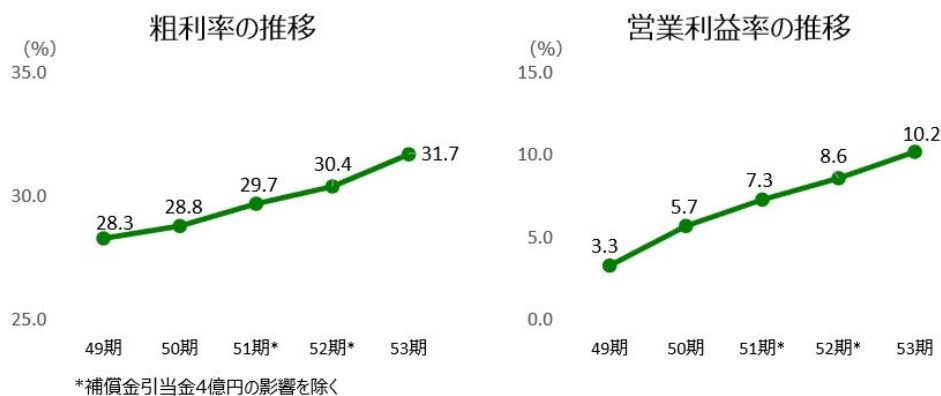
たまたま利益の取り方が期をまたいでいるため、見目がどうしても二期分高く出てしまいましたが、私たちの中ではそれを見越しており、売も利益もきれいに右肩で上がっているとご理解いただければと思います。

それから、親会社株主に帰属する当期純利益の推移は先ほどのとおりです。これも同じように、期を跨いでならしてみますと、利益も右肩できれいに上がってきていることです。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

連結業績の推移



- 業務効率化、IT化等による生産性向上により粗利率は改善傾向
合わせて営業利益率向上に寄与。

そちらをもう一つ違う側面から説明しますと、これは粗利率の推移です。

これは逆にいえばこの粗利率を100から引いたものを原価率といいます。原価率といいますのは私たち、技術の現場での経費、固定費を含めたものでございます。これは原価率でいきますと、きれいに同じように下がってきています。

一つ、この51期と52期は先ほどの台船の部分を相殺しておりますので、こういうカーブになります。いずれにしましても、ここ5年間は原価率が右肩下がっているということは、効率化が進んでいることとございます。

私たち事業をしていく中で、技術の現場ではいかに効率良く仕事を進めていくかを日々考えながらやっております。それがこの5年間で少しずつですが効果が出てきています。

しかしそれだけではまだまだ足りないということで、先ほど社長の永治が説明したとおり、これからはIT化による投資をもっともっと進めて、今、進めてきた効率化をさらに重ねていこうと考えていることとございます。

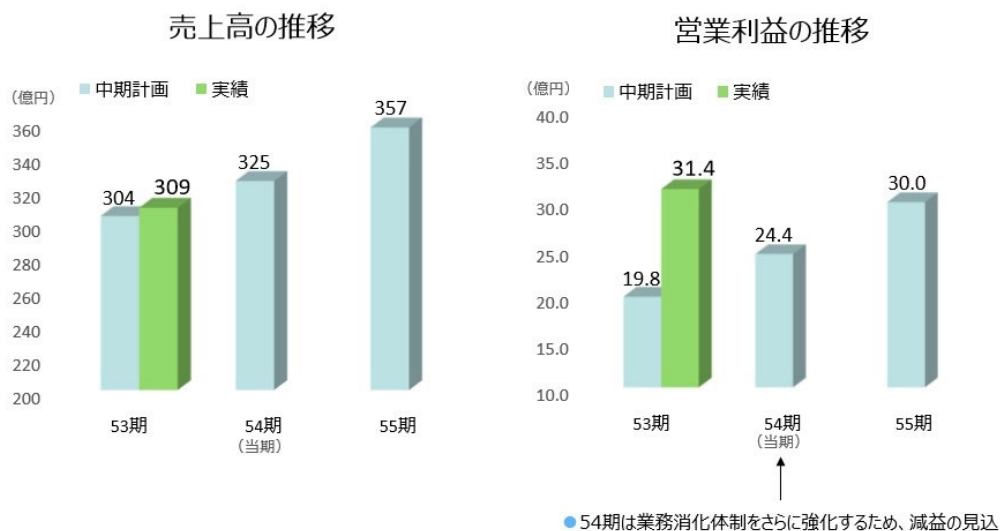
あとは営業利益、これは先ほどのとおりですね。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結業績の推移（中期計画との比較）

中期経営計画「長大持続成長プラン2019」と実績・予想



Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

23

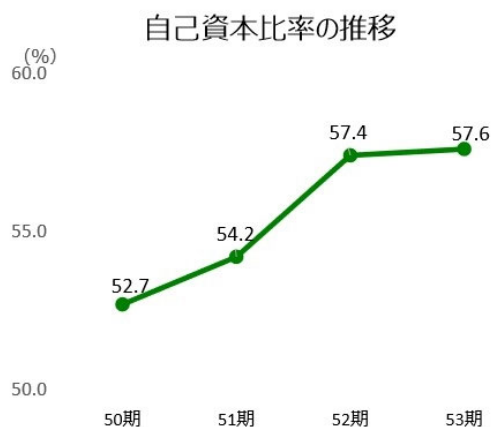
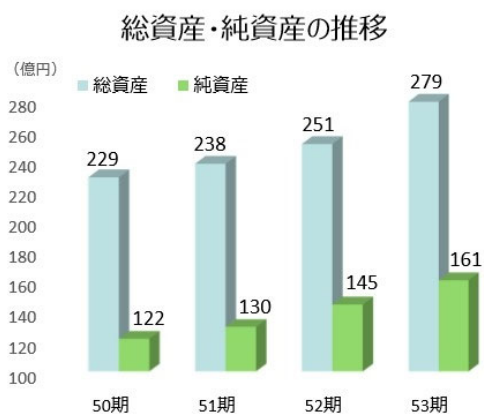
そして売上高の推移。これも中計通り右肩上がりです。

営業利益につきましては、先ほどのとおり、53期の一部が54期に計上される予定ですので、そういう意味では53期は水色の予算と比べる際、実績から4億、5億引いて、26億～27億と考えても、もともとの予算よりプラスで推移しています。また54期である今期も本来であれば、もう少し利益が上がってきますということでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

財務状況の推移



Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

24

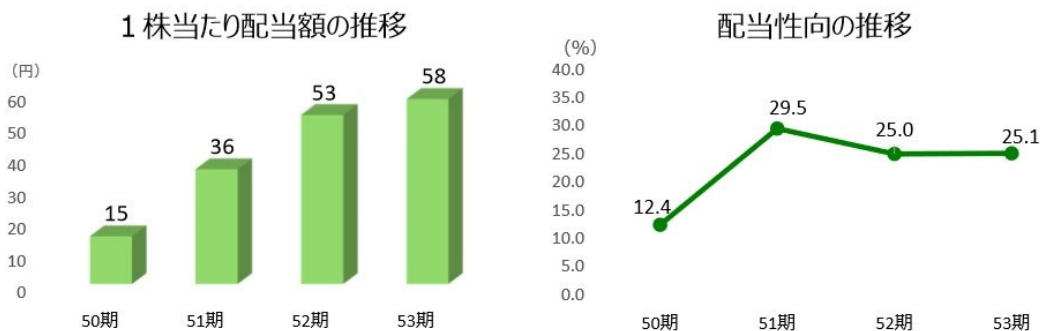
純資産の状況でございます。

そういう私たち、确实、着実な事業活動の下に、資産も右肩上がりに順調に上がってきているといえます。グループ全体の自己資本比率、約 58%までできています。単体では 60%を超えています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

配当の推移



- 51期 : 配当性向25%を目安とする配当額31円
+東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当5円
- 52期以降 : 1株当たり配当額40円と、配当性向25%に基づく配当額の
高い方を目安として、より安定的な配当を行う方針による
(長期経営ビジョンの最終年となる2030年までの間、より安定的に配当)

Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

25

この章の最後として、配当について報告させていただきます。

弊社はまず51期、今から2年前、配当性向を25%で決めさせていただいておりました。それからその翌期、52期の段階で53期からスタートする長期計画に2030年まで責任を持つと、2030年まで配当金40円もしくは25%に基づく高いほうを配当しましょうと2030年まで株主の皆様にご約束しております。

駆け足ですが53期の決算数値について報告させていただきました。

最後に事業トピックスについて、事業推進本部の井戸から説明させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

国立競技場ペDESTリアンデッキ



生まれ変わった国立競技場



国立競技場ペDESTリアンデッキ

- ペDESTリアンデッキの設計及び施行管理を支援
- 緑を取り入れ、周辺環境とも調和したスレンダーな構造

これは国立競技場ですが、国立競技場の本体ではなくて国立競技場の周囲にデッキがあり、そこからこの下にあるのが東京都道になります。都道を横断して南側に人が出られるようにと、この道路を横断するデッキ、この部分の設計を行ったものでございます。もう今ほとんど完成しております。

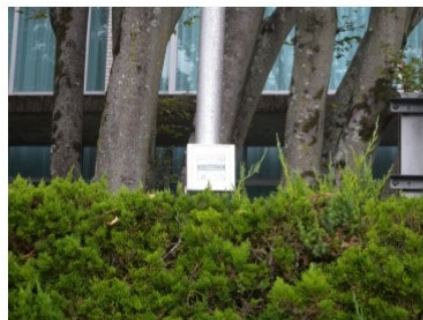
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

ラグビーW杯の混雑対策の効果検証



試合会場の豊田スタジアム



設置されているセンサー

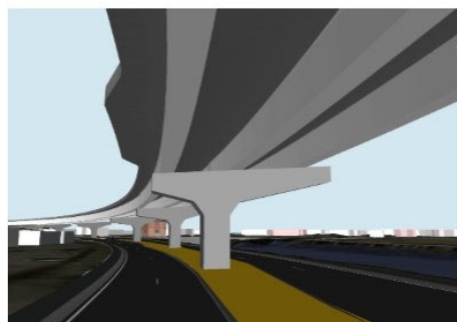
- 会場や最寄駅などにセンサーを設置し、スマートフォンなどの電波を基に来場者の数や流れを解析、評価。事前に計画された混雑対策の効果を検証
- 今後の大規模イベントにも活用していく方針

それから次にこれは話題が変わります。昨年ラグビーのワールドカップがありましたが、そのときにどういう人がどういう動きをされているのかを、右側にあるようなセンサーを設置しまして、皆様のスマートフォンから発信されている電波をキャッチして解析しました。人の流れを、こういう大規模なイベントの中で調査したものでございます。今後の大規模イベントにも、どんどん活用していきたい技術でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

小禄道路橋橋梁詳細設計におけるBIM/CIM活用



- 沖縄県の小禄道路橋設計
- 2次元画面に加え、3次元モデルで設計情報を連携
- 住民や警察、関係者などに、計画を視覚的に理解していただく新しいアプローチ

これは、長大がずっとやっております橋梁の設計です。今までと何が違うかと申しますと、これが最近話題になります BIM/CIM を活用した業務でございます。

2次元画面に加えて3次元モデルで設計情報を連携していくことで、設計から施工まで、それからその後の維持管理まで、3次元データで管理していくものになります。これはちょうど沖縄の那覇市、空港のすぐ東側ですが、その国道の上に立体部をつくる事業でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

トンガ王国に架かる橋梁、アクセス道路の設計



橋梁とバイパス道路



トンガ王国の自然

- 環境負荷を抑え、地震や津波に強いインフラ整備を提案
- 市街地と国際空港間のアクセス性の向上や、津波の際の避難地としての役割を期待

これは海外の紹介になりますが、トンガ王国、南太平洋の島ですが、約 170 ぐらいの島々からできておるところですが、そこの首都の中心部と国際空港を結ぶために、こういう橋の計画をしているところです。

今のこのラグーンという入江ですが、ここが非常にマングローブとか、そういう植生もありまして、環境にも配慮しなければいけないということで、今、その取り組みを始めたところでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

災害復旧

令和2年7月豪雨（熊本）対応

令和2年7月豪雨 災害復旧に対する初動対応に尽力



流出した橋梁



調査の様子

- 流失した橋梁の調査、流失を免れた橋梁の健全性確認、道路の啓開や応急復旧に対する資料作成、現地復旧作業の進捗確認等を実施

それから先ほど社長からも毎年災害に見舞われているという話がありましたが、今年も7月に豪雨がありました。これは熊本、球磨川の氾濫ですが、球磨川で10個ほど橋梁が流失しましたが、すぐ駆けつけまして、流失した橋梁の調査、あるいは流失を免れた橋梁の健全性、すぐ使えるかどうかというチェックを行いました。

それと道路の警戒や応急復旧に対する資料作成など、やはりわれわれコンサルタントとしての役目、役割を果たしたものでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

災害復旧

阿蘇大橋の復旧業務

平成28年熊本地震で崩壊した阿蘇大橋の復旧工事



完成のイメージ



復興工事中の阿蘇大橋

- 予備、詳細設計を実施
- 近くの断層の影響を考慮した、災害に強い橋を設計

これは何年か前にもこの場でご紹介させていただきましたが、熊本地震で崩壊した阿蘇大橋の復旧工事になります。来年3月に開通を目指して、今、最後の工事が進んでいるところです。この橋について予備、それから詳細設計を長大でやらせていただきましたので、非常に思い入れのある橋になろうかと思っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

再生可能エネルギー

洋上風力発電調査

洋上風力発電事業に新機材を導入し、一般海域調査に対応



槽



海底着座式探査装置

- 洋上風力発電事業は、港湾区域内から一般海域へ拡大
- 水深30m対応槽を新造、探査機器を共同開発

これはグループ会社の基礎地盤コンサルタントが取り組んでおるものですが、洋上風力発電事業に関して、この地盤地質の調査、解析、それからそのリスク評価といったものが、基礎地盤では得意とする分野ということですので、このような事業に取り組んでおります。

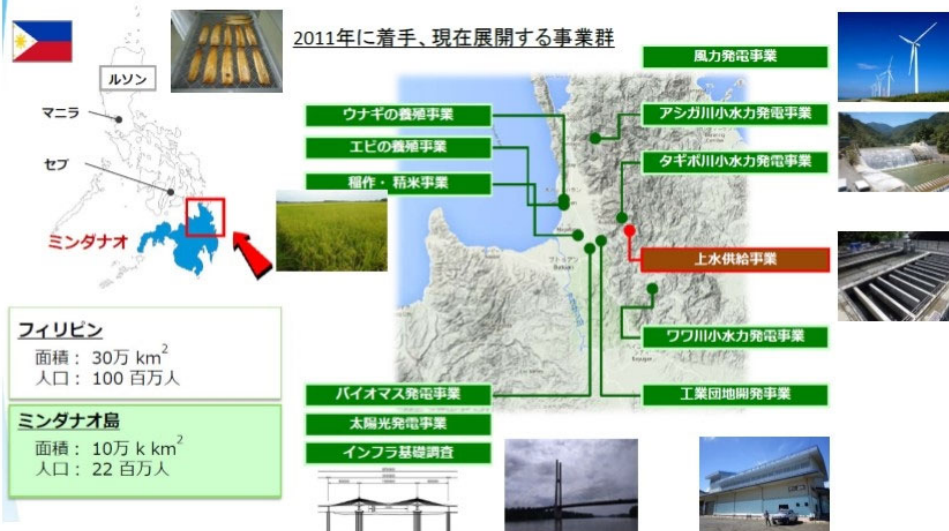
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

海外事業

フィリピンでの地域経済開発プロジェクト

フィリピンのブトゥアン市周辺で展開するPPP事業



Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

35

これは毎年見ていただいています、フィリピンでの複合的な事業ですが、発電のみならず水産業、農業、いろいろなものに取り組みを広げておるところでございます。

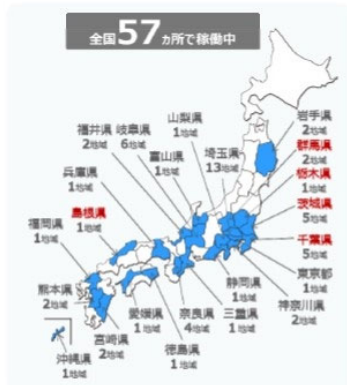
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

Iot化の実現

オンデマンド交通システム「コンビニクル」

オンデマンドバスシステムを利用した「コンビニクル」



- 「コンビニクル」は、オンデマンドバスシステムを利用した、地域公共交通の導入から運行までのパッケージ
- 毎日230台程の車両が運行、約9万人/月を運んでいる

Copyright ©2020 CHODAI Co., LTD. All Rights Reserved

36

それから、これはやはり長大のグループ会社であります順風路が取り組んでおります、オンデマンド交通システム、コンビニクルになります。53 期中に全国 57 カ所に導入していただいております。

今期に入りまして、もう 3 カ所ほど増えていますので、現在では 60 カ所まで箇所数を伸ばしているものでございます。高齢者など移動手段のない方に活用していただいております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

Iot化の実現

量子コンピュータ

量子アニーリングによる配電網最適化特許取得



- 将来の効率的な電力マネジメントに向けて、電力ロスを最小化する配電網の作成方法に関する特許
- 次世代電力網効率化事業へ向け研究の開始

こちらは非常に珍しいものですが、量子コンピュータになります。今、非常に注目を浴びているもので、量子アニーリングによる配電網最適化の特許を取得しました。

この理論、いろいろ応用できることがあります。最適ルートの検索に一番長けておりますので、そういうところで交通流、物流、こういったものが流れているところの最適なルートを見つけていく分野で、今後さらに使えるのではないかと考えております。

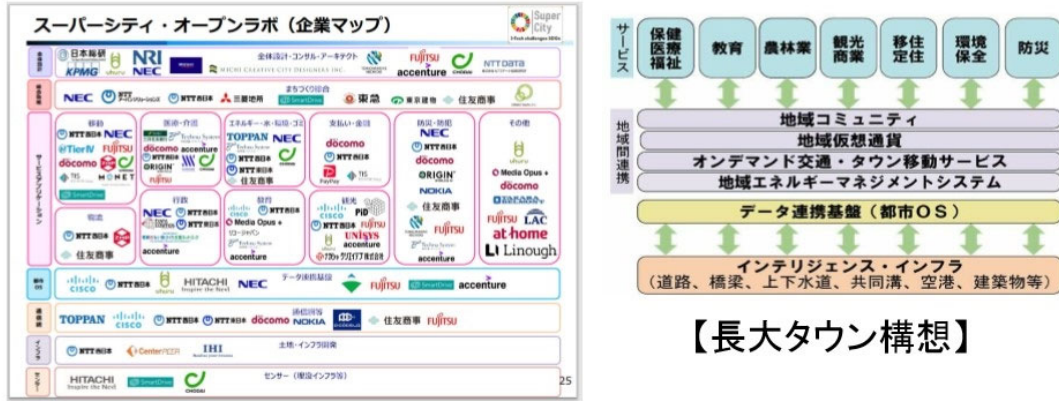
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

地域創生

スーパーシティ構想

未来都市を実現する内閣府主催「スーパーシティ・オープンラボ」に参加



- スーパーシティ構想実現に取り組む全国の自治体を、技術的な側面からサポート
- 全国の自治体が目指す未来のまちづくりの実現を支援

それからこれも最近非常に話題になります、スーパーシティですが、こういうスーパーシティに関する内閣府主催のスーパーシティ・オープンラボがございまして。ここにいろんな企業様が参加しております、われわれも建設コンサルタントとして参加いたしました。

今後、全国の自治体が目指す未来の町づくりの実施、スーパーシティですが、これを支援していきたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

長大グループにおけるCSR活動

国連との関係構築と人的交流

令和元年11月、PPPのエキスパートである社員が国際連合欧州本部に出向



国際連合欧州本部



講習会の様子

- 国連欧州経済委員会のPPP推進局担当次長を長大に招き、特別講演会を開催
- 当社のフィリピンでの事業が、国連の策定したSDGsの達成に貢献するものと改めて評価を受けました

それから、こちらは国連との関係構築と人的交流として、令和元年11月、PPPのエキスパートである社員が国際連合欧州本部に出向と書いてありますが、ここにおります加藤が出向しておりました。コロナの影響でもう帰ってきておられますが、そこでこの欧州経済委員会の中のPPP推進局で勤務させていただきまして。そのときに人脈をつくらせていただいた機会でございます。

以上でございます。ありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

質疑応答

司会：ご説明ありがとうございました。それでは質疑応答に入ります。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開する予定です。したがって質問の際、会社名、氏名を名乗られますとそのまま公開されますので、匿名を希望される場合はこの点ご留意願います。

それではご質問のある方、挙手を願います。マイクをお持ちいたします。

エンドウ：日刊建設工業新聞社のエンドウと申します。お世話様です。2点ほど質問があります。

1点目、冒頭で永治社長がご説明いただいた設備投資の関係で、54期は53期比で約3~4倍の投資を見込むと記載がありますが、総額でまずおいくらなのか教えていただければと思います。

もう1点目は、国内の市場は国土強靱化の関連予算の計上が見込まれる等々で、受注環境は良いのかなと思います。反面、海外はコロナの対応等々で若干、苦戦を強いられているのかなと思いますが。

改めて来年というか、21年の9月期以降の海外の市場をどう見ておられるのか。またその注力事業をどう展開されていくのかをお伺いします。

永治：まず最初の研究開発投資、主にITですが、その部分でいえば3億ないし4億を純粋伸び率として注ぎ込む予定でおります。

それから海外の展開ですが、おっしゃるように大変まだまだコロナの状況で、海外へ行けない状況が続いております。既に契約済みのものにつきましてはリモートでなんとかやっていますが、やはり現場を持っているものにつきましては、現場に行かないとできないものがあります。そういうことで、一部既に渡航して稼働しております。

ただ、全面的にということではありません。特にフィリピン等はまだまだ国内での移動の制限もありますから、そうしますと行ったところでホテルに缶詰という状況になってしまいますので、あまり行く意味がないということ。残念ながら、今、現時点でいうと、できるものとできないものが半分あるかどうかというところですかね。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



ただ今後、最近テレビを賑わしていますコロナのワクチンが効くのであれば、今のところ分かりませんが、すぐにでも復活するのだらうと思います。というのは、やはりインフラはじめ途上国の地域開発は、開発意欲がものすごく高いものがあります。

特にコロナで開発がストップしてしまっていますから、PFI あるいは PPP といった民間のお金を活用するところを伸ばさざるを得ないだらうと思いますし、日本の ODA も恐らく、期待されるどころだと思っています。

そういうことで、コロナ後というべきかウィズコロナというべきかは分かりませんが、来年の早い時期には多分、活発に動き始めるのではないかなと見ております。事実、一部の事業では早く現場に来て欲しいという話はきていますから動かざるを得ないといえますか、動ける状況になるのではないかと考えています。

受注に関しては、海外部分の受注をいかに今からつくっていくかというところ、今期からおそらく動けるとは思いますが、来期以降の大型の案件をどうやって掴んでいくかが、今のところの課題であると思っています。以上です。

司会：ほかにご質問のある方、いらっしゃいますでしょうか。いかがでしょうか。

それではご質問ないようでございますので、以上をもちまして株式会社長大様の IR ミーティングを終了いたします。皆様、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptasia.com